第一フロンティア生命の変額個人年金保険

安心未来形 NEXT 2

年金原資運用実績連動保証型変額個人年金保険(11)

特別勘定　月次運用レポート

特別勘定名称
NDバランス2016型

この商品は、第一フロンティア生命を引受保険会社とする生命保険であり、預金とは異なります。

2026年10月発行

［募集代理店］

［引受保険会社］

第一フロンティア生命保険株式会社
〒105-0003　東京都港区西新橋1-1-1日比谷フォートタワー
ホームページ https://www.d-frontier-life.co.jp/
お客さまサービスセンター
フリーダイヤル　0120-876-126
営業時間 9:00～17:00(土日、祝日、年末年始などの休日を除く)

(登)B18F0153(2018.4.20)

投資リスクについて

この保険は、先進国（日本・米国・欧州）の株式、先進国・地域および新興国・地域の通貨、先進国（日本・米国・欧州）の債券で実質的に運用されるため、運用実績が積立金額、死亡給付金額、解約返還金額などの増減につながることから、株価、債券価格および為替の変動などにより、積立金額、解約返還金額は一時払保険料相当額を下回ることがあり、損失が生じるおそれがあります。

お客さまに負担していただく諸費用について（この保険に係る費用は、以下の費用の合計になります）

項目	費用	時期
保険契約関係費	特別勘定の資産総額に対して年率 2.98%	左記の年率の1/365を積立金から毎日控除します。
資産運用関係費※1	信託報酬は、投資信託の純資産総額に対して年率 0.11%（税込）	左記の年率の1/365を投資信託の信託財産から毎日控除します。
解約控除	基本保険金額に経過年数に応じた解約控除率（6.0%を上限）を乗じた金額	ご契約の解約などの際に積立金から控除します。
保険契約関係費※2（年金管理費）	受取年金額に対して最大 0.35%	年金支払開始日以後、年金支払日に控除します。

※1　上記の信託報酬のほか、信託事務に関する諸費用、監査費用、有価証券・金融派生商品の取引にかかわる費用および消費税などを間接的に負担していただきます。なお、売買委託先、売買金額などによって手数料率が変動するなどの理由から、これらの計算方法は表示しておりません。記載の信託報酬は当レポート発行月現在の数値であり、運用会社により将来変更される場合があります。

※2　年金額は、年金支払開始日以後、年金の支払いとともに費用を控除する前提で算出されますので、費用が年金額から差し引かれるものではありません。また、保険契約関係費（年金管理費）は当レポート発行月現在の数値であり、将来変更することがありますが、年金受取開始時点の保険契約関係費（年金管理費）は年金受取期間を通じて適用されます。なお、「死亡給付金等の年金払特約」および「運用期間中年金支払移行特約」を付加した場合の特約年金についても同様の取扱いとなります。

特別勘定の内容

特別勘定の名称	主な投資対象となる投資信託の名称	運用会社
NDバランス2016型	DIAM世界アセットバランスファンド28VA（適格機関投資家限定）	アセットマネジメントOne株式会社

ご留意事項

＊年金原資運用実績連動保証型変額個人年金保険(11)は投資信託ではなく生命保険です。また、この商品は預金とは異なり、預金保険法第53条に規定する保険金支払の対象とはなりません。募集代理店が元本の保証を行うことはありません。

＊このレポートは年金原資運用実績連動保証型変額個人年金保険(11)の特別勘定の運用状況を開示するためのものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

＊このレポートには年金原資運用実績連動保証型変額個人年金保険(11)の商品内容のご説明はございません。ご検討、お申込みに際しては、専用の「契約締結前交付書面（契約概要/注意喚起情報）兼 商品パンフレット」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」などを必ずお読みください。

特別勘定の運用レポート

2026年9月末現在

特別勘定の投資方針

先進国（日本・米国・欧州）の株式、先進国・地域および新興国・地域の通貨、先進国（日本・米国・欧州）の債券などを実質的な投資対象とする投資信託に投資し、特別勘定資産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

●この特別勘定は、実質的に先進国の「株式」、先進国・新興国・地域の「通貨」、先進国の「債券」の3つの資産に投資を行います。

●さらに「短期金融資産など」に配分することで、資産全体の値動きを一定に保つよう調整します。

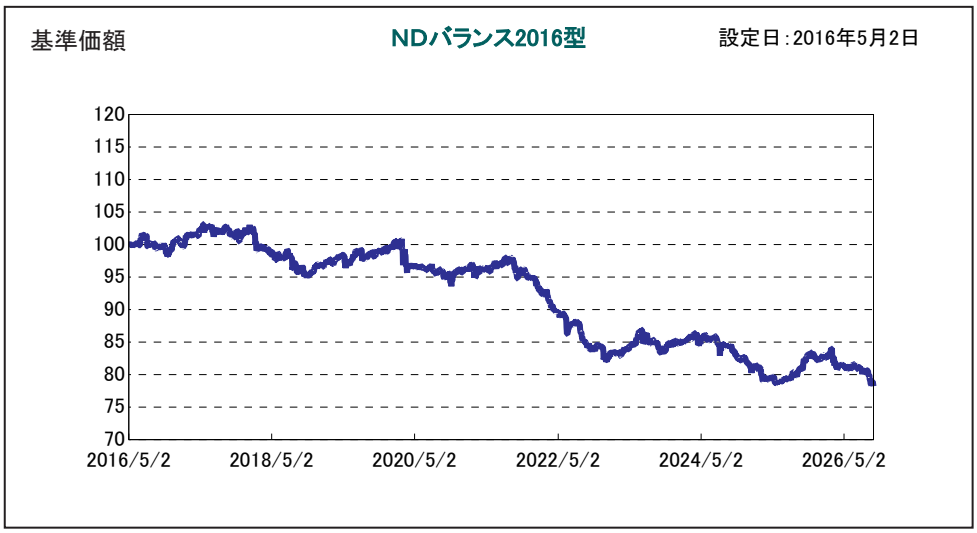
特別勘定資産の内訳

資産総額（百万円）	資産配分	
	投資信託	現預金等
26,322	99.6%	0.4%

＊特別勘定は、投資信託を主たる投資対象として運用するほか、保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有しています。

＊特別勘定資産の内訳は、投資信託の購入・解約の申し込み実績を反映しております。

特別勘定の基準価額と騰落率の推移



＊非表示部分を四捨五入

騰落率	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来	基準価額（2026年9月末）
	−2.93%	−3.95%	−3.27%	−3.43%	−6.91%	−21.80%	78.1978

＊特別勘定の基準価額の値動きは、特別勘定が投資対象とする投資信託の値動きとは必ずしも一致しません。
特別勘定が一定の現預金等を保有していることや、特別勘定の基準価額計算にあたり保険契約関係費を控除すること等によるものです。

<参考情報>　組入投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】
NDバランス2016型

※本資料は、特別勘定に組み入れている投資信託の運用状況を参考情報として開示するもので、アセットマネジメントOne株式会社が作成した運用レポートを第一フロンティア生命保険株式会社よりご提供するものです。
※この投資信託の基準価額の変動は、特別勘定の基準価額の変動とは異なります。また、ご契約者が直接投資信託を保有しているものではありません。
※本資料に記載されている運用実績等は過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

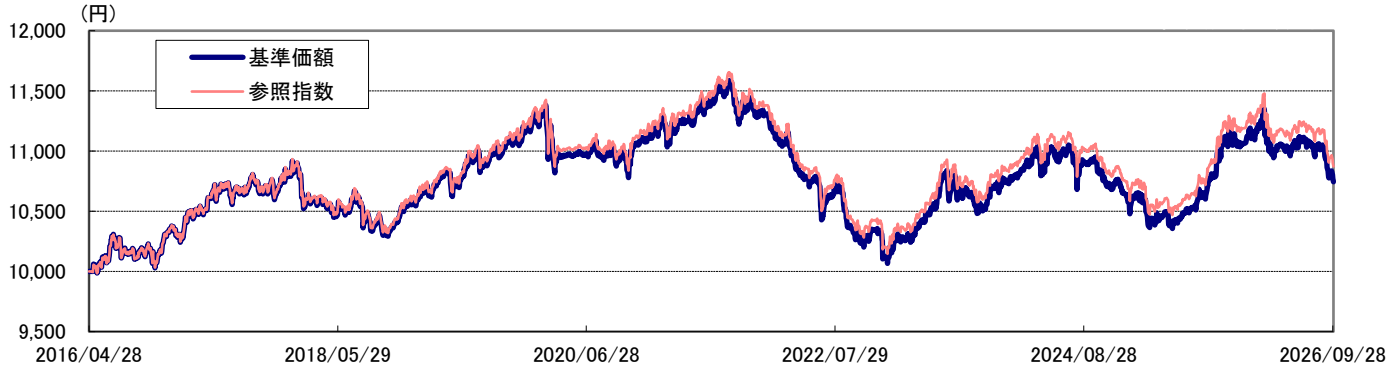
【投資信託の名称】
DIAM世界アセットバランスファンド28VA（適格機関投資家限定）

【設定・運用】
アセットマネジメントOne株式会社

2026年9月30日現在

■投資方針
当ファンドは、野村證券株式会社とのスワップ取引等を通じて、「クロスアセットナビゲーター15VA指数」（以下、「参照指数」といいます。）に連動する投資成果をめざし、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

基準価額の推移（税引前分配金再投資）



基準価額は税引前の分配金を再投資したものとして計算していますので実際の基準価額と異なることがあります。
基準価額および参照指数は設定日（2016年5月2日）の前営業日を10,000として表示しております。
また、参照指数は当ファンドの基準価額に反映される日を基準に表示しています。
基準価額は信託報酬控除後です。
参照指数の推移は、野村證券株式会社から提供を受けたデータを基に作成しています。

当月末基準価額・純資産総額

基準価額	10,744 円
純資産総額	26,244 百万円

ポートフォリオ構成

	評価額	組入比率
参照指数を対象とするスワップ取引	26,326　百万円	100.3%

※1 組入比率は純資産総額に対する割合です。
※2 当ファンドは、参照指数を対象とするスワップ取引の他に、主に以下の資産を保有しています。なお、日経平均株価を対象とするスワップ取引を行うことにより、基本的に日経225現物バスケットの時価変動の影響は受けません。

株式（日経225現物バスケット）：　25,743　百万円
日経平均株価を対象とするスワップ取引：　25,743　百万円

騰落率（税引前分配金再投資）

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
当ファンド	−2.69%	−3.22%	−1.82%	−0.51%	1.81%	7.44%
参照指数	−2.68%	−3.20%	−1.77%	−0.44%	2.11%	8.72%
差	−0.01%	−0.02%	−0.05%	−0.07%	−0.30%	−1.28%

※1 騰落率は税引前の分配金を再投資したものとして算出していますので実際の投資家利回りと異なることがあります。
※2 参照指数の騰落率は、野村證券株式会社から提供を受けたデータを基に作成しています。

○当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。
○当資料は情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
○投資信託は、参照指数を対象とするスワップ取引に投資をしますので、市場環境、カウンターパーティーにかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します（為替変動リスクもあります）。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
○当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
○当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したものとする基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。
○当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
○投資信託は
1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
2. 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。
3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

＜参考情報＞　組入投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】
NDバランス2016型

※本資料は、特別勘定に組み入れている投資信託の運用状況を参考情報として開示するもので、アセットマネジメントOne株式会社が作成した運用レポートを第一フロンティア生命保険株式会社よりご提供するものです。
※この投資信託の基準価額の変動は、特別勘定の基準価額の変動とは異なります。また、ご契約者が直接投資信託を保有しているものではありません。
※本資料に記載されている運用実績等は過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

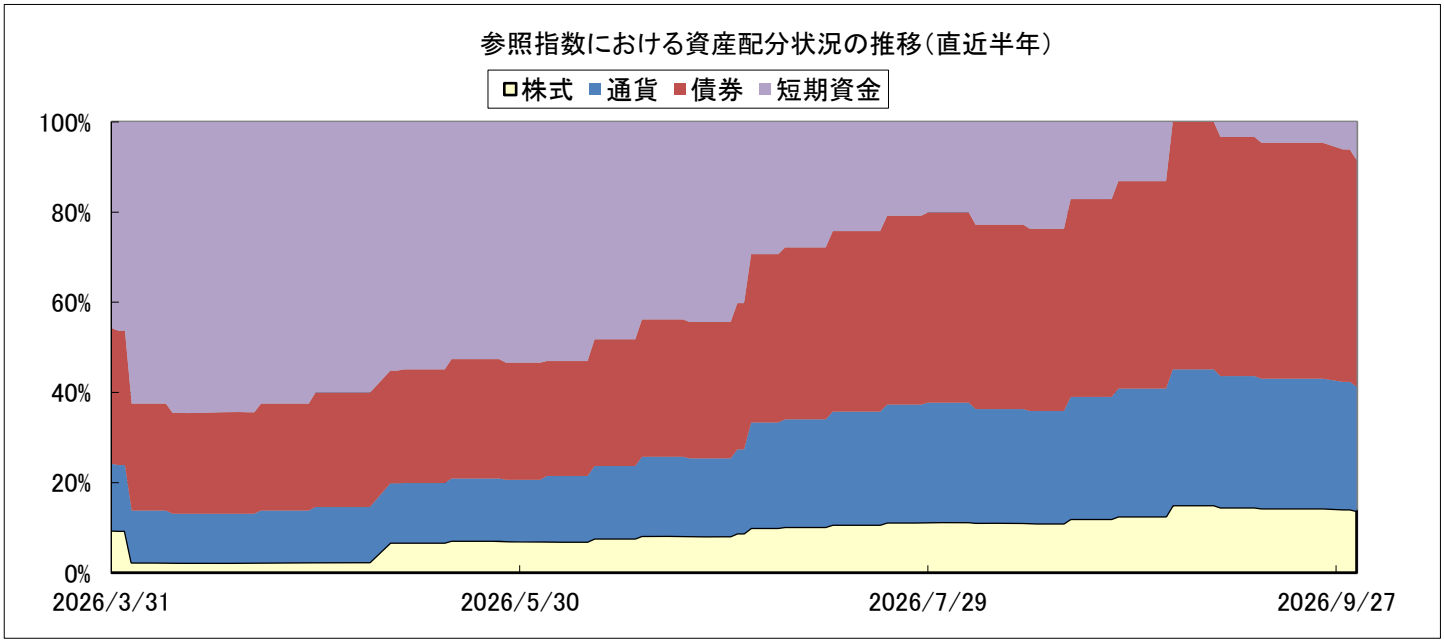
【投資信託の名称】
DIAM世界アセットバランスファンド28VA（適格機関投資家限定）

【設定・運用】
アセットマネジメントOne株式会社

2026年9月30日現在

当ページは、野村證券株式会社から提供を受けたデータを基に作成しています。

【参考情報】資産配分状況



資産種類	実質的な運用内容	資産配分状況		1ヵ月騰落率
		前月末	当月末	
株式	S&P500指数先物	5.7%	5.6%	−0.98%
	ユーロストックス50指数先物	4.7%	6.0%	−1.98%
	日経225先物	2.1%	2.2%	−0.45%
通貨	先進国・地域および新興国・地域の通貨	28.3%	27.6%	−2.74%
債券	米国10年国債先物	16.8%	17.9%	−4.20%
	ドイツ10年国債先物	12.9%	15.8%	−3.91%
	日本10年国債先物	16.3%	16.6%	−1.57%
短期資金	現金	13.1%	8.5%	−

※1ヵ月騰落率は当ファンドの月末営業日の基準価額に反映される値を基に計算しています。
※資産配分状況は、各資産への配分全体を100とした割合で算出しています。

○当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。
○当資料は情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
○投資信託は、参照指数を対象とするスワップ取引に投資をしますので、市場環境、カウンターパーティーにかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します（為替変動リスクもあります）。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
○当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
○当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したものとする基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。
○当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
○投資信託は
1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
2. 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。
3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

※本資料は、特別勘定に組み入れている投資信託の運用状況を参考情報として開示するもので、アセットマネジメントOne株式会社が作成した運用レポートを第一フロンティア生命保険株式会社よりご提供するものです。
※この投資信託の基準価額の変動は、特別勘定の基準価額の変動とは異なります。また、ご契約者が直接投資信託を保有しているものではありません。
※本資料に記載されている運用実績等は過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【投資信託の名称】
DIAM世界アセットバランスファンド28VA（適格機関投資家限定）

【設定・運用】
アセットマネジメントOne株式会社

2026年9月30日現在

当ページは、野村證券株式会社から提供を受けたコメントを基に作成しています。

市場概況

株式市場は、米国ではS&P 500は情報技術セクターの上昇と金融セクターの下落が相殺したこと等を背景に小幅に下落しました。ユーロ圏では、ユーロストックスは下落しました。日本では、日経平均株価は小幅に上昇しました。
債券市場では、米国、欧州、日本の国債利回りはいずれも上昇しました。
為替市場では、米ドルはG10通貨、エマージング通貨の多くに対して上昇しました。

運用概況

参照指数は前月末比-2.68%となりました。組入資産のパフォーマンスについては、各地域の株式、各地域の債券および通貨が全てマイナスに影響しました。

〇当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。
〇当資料は情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
〇投資信託は、参照指数を対象とするスワップ取引に投資をしますので、市場環境、カウンターパーティーにかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します（為替変動リスクもあります）。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
〇当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
〇当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したものとする基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。
〇当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
〇投資信託は
1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
2. 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。
3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。